

防錆・防食技術発表大会を開催するにあたり



実行委員長 濱田 秀則*
Hidenori HAMADA

第39回防錆防食技術発表大会を開催するにあたりご挨拶を申し上げます。一昨年の第37回大会から実行委員長を拝命しましたので、今回で委員長3年目となります。本大会は日本防錆技術協会の大きなイベントの一つとして位置付けられており、毎年多数の方々に参加していただき、昨年も成功裡に終えることができました。これもひとえに皆様方の本大会に寄せる多大なご支援の賜物であると厚く御礼申し上げます。

今回も多くの貴重な腐食、防食に関する発表が予定されております。産業界からの発表は直接現場で活用できる技術の紹介も多く、ご参加いただいております皆様におおいに役立つものと確信しております。一方、学界からの発表は基礎的ではありますが、最新の研究成果を含んでおり、将来的に皆様のお役に立つものと思われま。また、例年どおり、2件の特別講演をプログラムに入れております。

鹿児島大学の武若耕司先生に「コンクリート構造物の塩害対策技術の変遷」と題するご講演をお願いしております。武若先生はコンクリート工学の分野では大変著名な先生であります。大学院の学生として在籍されました東京大学生産技術研究所における研究を皮切に、教員として赴任されました鹿児島大学におきましてもコンクリート構造物の塩害に関する研究を長年継続されておられます。武若先生のこれまでのご研究について網羅的にご紹介いただけるものと思ひます。私も大変楽しみにしております。皆様もどうぞご期待ください。

もう1件は、㈱ナカポーテックの望月紀保様に「電気防食を用いた新しい防食設計」と題するご講演をお願いしております。望月様は皆様よくご存知の電気防食関連技術の大家であり、望月様がこれまでに蓄積されました深い知見を網羅的にわかりやすくご紹介いただけるものと思ひます。大変楽しみです。どうぞご期待ください。

また、皆様から好評をいただいております「いまさら聞けない用語」につきましては、田邊弘住様（日本塗料工業会 技術アドバイザー）に「ISO12944 改定の経緯とふっ素樹脂塗料」に関するご講義をお願いしております。

平成の30年が終わり令和という新しい時代が始まりました。令和の最初の大会としてふさわしい意義のある大会となりますよう、皆様方の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後に、本大会を開催するにあたりご協力いただきました実行委員会委員の皆様をはじめ関係各位に心より感謝申し上げます。

* 第39回防錆防食技術発表大会実行委員長（九州大学大学院工学研究院）

第 39 回 防錆防食技術発表大会

主 催：一般社団法人日本防錆技術協会

協 賛：(一社)色材協会、(一社)樹脂ライニング工業会、ステンレス協会、石油連盟、全国鍍金工業組合連合会、(一社)電気学会、(公社)土木学会、(一社)日本アルミニウム協会、(一財)日本ウエザリングテストセンター、(一社)日本ガス協会、(一社)日本機械学会、(一社)日本橋梁建設協会、(一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会、(一社)日本建材・住宅設備産業協会、(一社)日本建設業連合会、(一社)日本建築学会、日本建築仕上学会、日本鋳業協会 鉛重鉛需要開発センター、(一社)日本鋼構造協会、(公社)日本コンクリート工学会、(公社)日本材料学会、(一社)日本産業機械工業会、(公社)日本水道協会、(一社)日本鉄鋼協会、(一社)日本鉄鋼連盟、(一財)日本電子部品信頼性センター、日本塗装技術協会、(一社)日本塗装工業会、(一財)日本塗料検査協会、(一社)日本塗料工業会、(公社)日本プラントメンテナンス協会、日本溶射工業会、(一社)日本溶射学会、(一社)日本溶融亜鉛鍍金協会、日本溶融アルミニウムめっき協会、(一社)表面技術協会、(公社)腐食防食学会、防食・補修工法研究会

(50 音順)

会 期：令和元年 7 月 4 日 (木) ～ 5 日 (金)

会 場：東京ガーデンパレス、2 階 高千穂

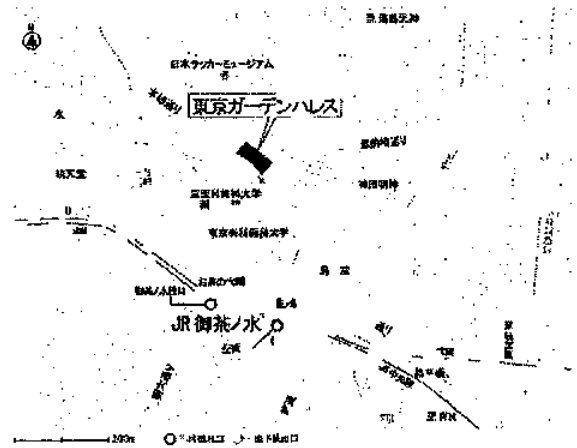
TEL 03-3813-6211

JR・中央線 御茶ノ水駅

聖橋口より徒歩 5 分

〒113-0034

東京都文京区湯島 1-7-5



会 費：

単位：円

区 分	令和元年6月24日(月) まで	令和元年6月25日(火) ～当日
当協会会員*	15,000	17,000
第59回防錆技術学校受講生	15,000	17,000
協賛学協会会員	15,000	17,000
一 般	19,000	21,000
学 生	5,000	5,000

(*：正、法人・個人賛助、防錆管理士会会員) (消費税 8% 含む)

発表大会でのご発表につきまして、ビデオ撮影、デジタルカメラなどによる撮影、録音は、ご遠慮ください。

会場内での PC の使用は休憩時間のみとし、発表中の使用は禁止します。

会場では、空調設備の関係上、温度設定が困難なため、上着等で、各自調整してください。

振込先：三菱 UFJ 銀行 本店 当座：7658372

口座名：一般社団法人日本防錆技術協会

申し込み問合せ先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 309

一般社団法人日本防錆技術協会 第 39 回防錆防食技術発表大会事務局

TEL 03-3434-0451 FAX 03-3434-0452

第39回防錆防食技術発表大会プログラム

第1日 7月4日(木)

時 間	内 容
9:30	開会のあいさつ
塗装Ⅰ [座長：藤城 正樹]	
9:35 }	101 塗膜表面性状に対する塗装条件の影響評価
9:55	(公財)鉄道総合技術研究所 ○鈴木 慧、坂本 達朗、鈴木 隼人
9:55 }	102 屋外構造物向けの重防食塗装の劣化定量評価
10:15	東京ガス㈱ ○西田 蓉子、沼田 香織
10:15 }	103 促進耐候性試験における水噴霧条件が ポリエチレンテレフタレートの劣化挙動へ与える影響
10:35	日本電信電話㈱ ○石井 梓、三輪 貴志、渡辺 正満、岡 宗一
休 憩 (10分)	
塗装Ⅱ [座長：松野 英則]	
10:45 }	104 滞水環境における複数塗膜傷間の鋼部材腐食の電気化学機構に関する 基礎的研究
11:05	九州大学大学院 ○宮崎 泰樹、貝沼 重信、長谷川昂志
11:05 }	105 素地調整後の鋼材表面性状と塗膜特性に関する基礎的検討
11:25	(国研)土木研究所 ○富山 禎仁、百武 壮、西崎 到
11:25 }	106 自律型プラストロボットによるプラスト処理規格への適応 第1報
11:45	㈱関東アスコン ○厚地 一郎
昼 休 憩 (50分)	
12:45 }	映 画 [司会：濱田 秀則]
13:05	シラスでつくるコンクリート
特別講演Ⅰ [司会：濱田 秀則]	
13:05 }	「コンクリート構造物の塩害対策技術の変遷」
13:55	鹿児島大学 武若 耕司 氏
休 憩 (10分)	
溶射・めっき [座長：古吟 孝]	
14:05 }	107 淡水中における溶射アルミおよび亜鉛の極性逆転腐食
14:25	カンメタエンジニアリング㈱ ○竹本 幹男、中村 元昭、植野 修一
14:25 }	108 コンクリート中亜鉛めっき鉄筋の腐食速度評価
14:45	鹿児島大学大学院 ○赤塚 創太、山本 乾雄、山住 大海 武若 耕司、山口 明伸、審良 善和

14:45 }	109 沖縄県における溶接金網・ひし形金網の防錆処理について	(株)大進商会 (一社)日本防錆技術協会沖縄支部 沖縄県工業技術センター (株)エムテック	○新垣 善久 屋良 秀夫 安里 昌樹 宮城 肇
休憩 (10分)			
新技術 [座長: 富山 禎仁]			
15:15 }	110 低コスト・省工程な準重防食塗装の検討 (2)	日本電信電話(株)	○三輪 貴志、石井 梓 渡辺 正満、岡 宗一
15:35 }	111 粘着テープを用いた防食工法の開発	大日本塗料(株) 積水化学工業(株)	○田邊 康孝、山内健一郎、宮下 剛 梶 章二、長尾 功弘
15:55 }	112 次世代耐火被覆材の開発	関西ペイント販売(株)	○増田 佳裕
16:15	休憩 (10分)		
腐食事例 (と対策) [座長: 坂本 達朗]			
16:25 }	事例001 土壌中に建柱された鋼管柱の地際部に対する防食事例	日本防蝕工業(株) 北海道電力(株)	○阿部 健、後藤 大 岡林 弘明、田代 賢吉 橋田 修吉
製品・施工技術発表 [司会: 事務局]			
16:40 }	製001 耐腐食性に優れた実装基板向けコンフォーマルコーティング	モンメンティブパフォーマンスマテリアルズジャパン合同会社	○新井 文博
16:55			
17:00 }	技術交流会 (平安)		
18:30			

第2日 7月5日(金)

時 間	内 容
塗料 [座長：三谷 誠]	
9:30 9:50	201 低線膨張係数を有する弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料の性能評価 大日本塗料(株) ○加藤 瑞樹、清水 悠平、松本 剛司
9:50 10:10	202 線膨張係数に着目した塗料の今後の展望について (株)四国総合研究所 ○西森 修次、大捕 秀基、坂口 聡彦
休 憩 (10分)	
腐食 [座長：清水 義明]	
10:20 10:40	203 局部腐食及び局部腐食経路型SCCに対するショットピーニングの効果 カンメタエンジニアリング(株) ○竹本 幹男、中村 元昭、植野 修一
10:40 11:00	204 マルテンサイト相を導入したSUS304ステンレス鋼の局部腐食挙動解析 (株)ナカボーテック ○八木 雄太 芝浦工業大学 市川 大樹、野田 和彦 名古屋工業大学 渡辺 義見
11:00 11:20	205 マグネシウム合金 (AZ31) における暴露試験と腐食促進試験の腐食特性の比較 JFEテクノリサーチ(株) ○上原 佳織、村瀬 正次、梶山 浩志 小原 美良、藤林 亘江、小森 務
11:20 11:40	206 非接触電位測定による金属材料の大気腐食挙動解析 芝浦工業大学 ○野田 和彦 芝浦工業大学大学院 白鳥 遥 関西大学 廣畑 洋平 (株)ナカボーテック 八木 雄太
昼 休 憩 (60分)	
特別講演Ⅱ [司会：与那嶺一秀]	
12:40 13:30	「電気防食の考え方に対する一考察」 (株)ナカボーテック 望月 紀保 氏
休 憩 (10分)	
電気防食 [座長：田代 賢吉]	
13:40 14:00	207 RC構造物に適用される電気防食工法における適切な電位モニタリング位置について 鹿児島大学大学院 ○川畑 雅樹、濱田 泰行、審良 善和 武若 耕司、山口 明伸、小池賢太郎
14:00 14:20	208 電気防食工法を適用したRC部材中の浮きや前処理が鉄筋電位の測定値や防食電流分布の均一性に及ぼす影響 東京工業大学 ○邊木 蘭 慧、岩波 光保 東亜建設工業(株) 福岡 繁、網野 貴彦 (株)ナカボーテック 大谷 俊介、石井 辰弥
14:20 14:40	209 電気防食用アノードの接地抵抗に関する検討 防食・補修工法研究会 ○柏木 達夫
休 憩 (10分)	

いまさら聞けない用語 [司会：松野 英則]	
14：50	[ISO19244改定の経緯とふっ素樹脂塗料の経緯と内容について] (一社)日本塗料工業会 田邊 弘住 氏
15：10	
休憩 (5分)	
被覆 [座長：審良 善和]	
15：15	210 ベトラタム被覆防食工法における油分残存率測定方法の検討 (株)ナカボーテック ○星野 雅彦、伊藤 真理
15：35	
15：35	211 電気化学インピーダンス法による超厚膜形エポキシ樹脂被覆の劣化診断 日鉄エンジニアリング(株) ○佐々木信博
15：55	
15：55	若手技術者優秀発表賞 表彰
16：05	

[一般発表時間 15分 質疑応答 5分] 計20分 [事例発表時間 12分 質疑応答 3分] 計15分

第39回 防錆防食技術発表大会参加申込書

送付日：令和元年 ____ 月 ____ 日

受付No. _____

会員種別	参加者氏名	技術交流会 出・欠	所 属 ・ 役 職 名
会員・一般		出・欠	
会員・一般		出・欠	
会員・一般		出・欠	
会員・一般		出・欠	
会員・一般		出・欠	
会 社 名			
住 所	〒 _____		
連絡先責任者 所属・氏名			TEL FAX
会 費	・ 会員（当協会正会員・賛助会員・ 防錆管理士会会員・協賛団体） ・ 第59回防錆技術学校受講生 受講No. _____ ・ 一 般 ・ 学 生		_____ 名 _____ 円 _____ 名 _____ 円 _____ 名 _____ 円 _____ 名 _____ 円 計 _____ 名 _____ 円
予稿集の 事前送付	要・不要	予稿集の事前送付をご希望の方は、送料を加えた額をお振り込み下さい。 1名 400円、 2名 470円、 3名 540円、 4名 610円、 5名 680円	

ご送金方法 郵便書留・銀行振込 ____ 月 ____ 日までに送金する。（前納は、6月24日まで）

申 込：参加申込書に所要事項をご記入の上、下記あてにFAX、郵送、
又はE-mail (jacc@mbf.sphere.ne.jp) でお申し込み下さい。

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8

機械振興会館 309

一般社団法人日本防錆技術協会

TEL 03-3434-0451

FAX 03-3434-0452

振込先：三菱UFJ銀行 本店 当座：7658372

（シャ） ニホンボウセイギジユツキヨウカイ

一般社団法人 日本防錆技術協会

第 39 回防錆防食技術発表大会

カタログコーナー並びに講演予稿集広告掲載のご案内

毎年開催いたしております「防錆防食技術発表大会」は、本年も7月4日(木)、5日(金)の二日間にわたり、「東京ガーデンパレス」(東京・御茶ノ水)において第39回大会を開催いたします。

「カタログコーナー」は、優れた防錆防食関連の技術情報を来場者に提供する目的で併催しております。来場者アンケートによると実に7割以上の方々が「カタログコーナー」を利用したと回答しておりますと多くのカタログ出品を希望されております。

また、発表や特別講演の内容を掲載した「講演予稿集(約180頁)」は、永久保存版として技術者、研究者の座右に永く置かれます。この予稿集への広告掲載を募集しております。是非ご活用賜りますようお願い申し上げます。

我が国の防錆防食技術者が一堂に会するこの場所において「カタログコーナー」並びに「講演予稿集広告掲載」を通じ、貴社製品、施工法の技術的特性や優位性を存分にアピールされ、市場開拓の一助とされることをお勧め申し上げます。

カタログコーナーの概要

1. 陳列形式 カタログは、専用カタログラックに陳列します。
2. 申込締切 令和元年6月17日(月)
3. 会 費

	基本料 (1点)	追加料 (1点増す毎)
正 会 員	5,000円	5,000円
一 般	10,000円	5,000円

* 厚さ10mm以上のもの場合は、5,000円増しとなります。

4. 納 品 カタログは6月28日までに事務局に約50部をご送付ください。

講演予稿集広告掲載

1. 印刷部数 1,000部
2. 完成体裁 A4 オフセット印刷
3. 掲載料

	本 文 (1頁)	本 文 (半頁)	裏表紙裏 (半頁)
正 会 員	30,000円	20,000円	30,000円
正会員以外	80,000円	60,000円	80,000円

4. 原 稿 版下又は鮮明に印刷されたものをご提供ください。
5. 申込締切 令和元年5月31日(金)

申込方法 次頁の申込書に、必要事項をご記入の上、当協会(下記)あてにお申し込み下さい。

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館309

一般社団法人日本防錆技術協会 発表大会係

TEL 03-3434-0451 FAX 03-3434-0452

第39回防錆防食技術発表大会

カタログコーナー 申込書

講演予稿集広告掲載 申込書

(お申し込みの事業の□にレ印を付けて下さい。)

令和元年 月 日

一般社団法人日本防錆技術協会

所在地 〒

会社名

所属

担当者

TEL

FAX

カタログコーナー

下記のとおり、第39回防錆防食技術発表大会カタログコーナーに申し込みます。

記

題 目

1.

2.

3.

4.

5.

講演予稿集広告掲載

下記のとおり、第39回防錆防食技術発表大会講演予稿集への広告掲載に申し込みます。

本文1頁

本文半頁

裏表紙裏半頁 (先着順にさせていただきます。)